

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画

進捗状況評価報告書

(令和3年度)

国分寺市福祉部高齢福祉課

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画 評価票

評価票は、「施策の方向」ごとに、「施策評価票」と「事業評価票」で構成されています。

1 施策評価票

(1)進捗状況評価（令和3年度・令和4年度）

各年度末までの進捗状況を評価します。次の3つから選択。

- ☐ おおむね目標どおり進行している。
- ☐ やや取組が遅れている。
- ☐ 大幅に取組が遅れている。

(2)達成状況評価（令和5年度）

第8期(3年)を経て目標を達成することができたかを評価します。次の4つから選択。

- ☐ 目標以上に達成した。
- ☐ おおむね達成した。
- ☐ 目標を下回った。
- ☐ 実施しなかった。

(3)進捗状況/達成状況評価に関する説明

(1)・(2)の評価についての説明を記載します。

(4)検討委員会意見

施策評価票・事業評価票の評価について、国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会(以下「検討委員会」という。)の意見を記載します。

(5)次期計画に向けた方向性（令和4年度評価時に記載）

検討委員会の意見を記載します。次の3つから選択。

- ☐ 継続して実施する。
- ☐ 変更して実施する。
- ☐ 取組を終了する。

2 事業評価票

(1)進捗状況

「施策の方向」の重点事業について、各年度末までの評価を記載します。

次の3つから選択。

A:目標を上回った。

- ① 各年度の目標値がある事業で100%以上達成しているもの。
- ② 各年度の目標値がある事業で100%以上を達成していないが、計画に記載されている「指標」以外の部分を考慮すると「目標以上に達成している。」と評価できるもの。
- ③ 各年度の目標値がない事業で「目標以上に達成している。」と評価できるもの。

B:おおむね達成した。

- ① 各年度の目標値がある事業で80%以上100%未満を達成しているもの。
- ② 各年度の目標値がある事業で80%以上を達成していないが、計画に記載されている「指標」以外の部分を考慮すると「おおむね達成した。」と評価できるもの。
- ③ 各年度の目標値がない事業で「おおむね達成した。」と評価できるもの。

C:目標を下回った。

- ① 各年度の目標値がある事業で80%以上達成できなかったもの。
- ② 各年度の目標値がない事業で「目標を下回った。」と評価せざるを得ないもの。

(2)取組状況

「施策の方向」の取組事業について、各年度末までの取組状況を記載します。

国分寺市高齢者保健福祉計画・第8期国分寺市介護保険事業計画進捗状況評価総括表
【令和3年度】

進捗状況	件数	該当する施策の方向
おおむね目標どおり進行している。	19	【1-1】要介護状態にならないために／【1-2】在宅生活をできるだけ続けていくために／【1-3】家族の介護負担を軽減するために／【2-1】安心して介護サービスを利用するために／【2-2】情報を必要な人につなげるために／【2-3】高齢者の悩みや不安等の解消に向けて／【2-4】安全確保に向けて／【2-5】社会からの孤立を防ぐために／【2-6】高齢者の多様な住まいの確保に向けて／【2-7】外出しやすいまちを目指して／【2-8】個人の権利を尊重するために／【2-9】認知症施策の推進に向けて／【3-1】地域福祉を進めるために／【3-2】市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて／【4-1】自己の充実に向けて／【4-2】高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために／【4-3】様々な世代との交流に向けて／【5-1】誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために／【5-2】介護職の魅力を伝えるために
やや取組が遅れている。	0	
大幅に取組が遅れている。	0	

施策評価票

1-1

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①サービスB, ②地域介護予防活動支援事業, ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討
施策の方向1	要介護状態にならないために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, ☆健康推進課, ☆保険年金課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	地域介護予防活動支援事業の一環として地域住民が実施している集いの場の登録数が3グループ増えたことは評価できる。他の事業も目標値をおおむね達成していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 評価票全体として、重点事業の進捗状況に関する補足には、具体的な数値を記載できるものは記載してもらいたい。また、取組事業については目標となる状態や事業規模が分からないため評価しにくい。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

1-1

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向1	要介護状態にならないために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	サービスB	(訪問型)NPO法人・公益社団法人等の住民主体による家事等の生活支援を提供します。 (通所型)NPO法人・公益社団法人等の住民主体による体操・運動等の活動や、サロン等を実施します。	(訪問型)登録団体数(団体)	2	2	2	B	訪問型、通所型ともに新規の登録団体はなく、利用者の増加はなかった。地域資源の発掘や周知活動を続ける一方、利用しやすい事業になるよう対象者や利用手順について地域包括支援センターから意見をもらいながら、検討している。	高齢福祉課
				2					
			(通所型)登録団体数(団体)	4	4	4			
				3					
②	地域介護予防活動支援事業	地域住民主体で行う介護予防活動の支援などを行います。	介護予防推進員登録者(人)	38	55	55	B	令和3年度は新規養成講座を開催しない分、既存の介護予防推進員のフォローアップに努めた。東京都のモデル事業である「区市町村における多様な予防プログラムの展開支援(ちよいたし事業)」に手挙げし、地域に介護予防を普及する方法の一つとして既存の介護予防推進員へ道筋を示した。	高齢福祉課
				34					
			集いの場登録グループ数(グループ)	29	31	33	A	コロナ禍で立ち上げ支援が難しい中、令和3年度には3グループ立ち上がった。密を避けるため、大規模での新規立ち上げは今後も難しく、小規模な近所同士でのグループ立ち上げを主流に展開している。	高齢福祉課
				33					
③	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の検討	介護予防・重度化防止や疾病予防・重症化防止を目指し、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施する体制を関連各課と協議・検討します。	実施体制構築に向けた検討	関係課での検討	関係課での検討	実施に向けた検討	B	関係課の課長間での検討を実施し、対象となる現行事業の位置づけの整理を開始した。高齢者保健事業と介護予防の一体的実施に向けた研修の参加と検討に向けた資料の作成を行った。具体的な実施体制構築に向けた協議を今後進めていく必要がある。	保険年金課 高齢福祉課 健康推進課
				関係課での検討(1回)					

基本目標 1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向 1	要介護状態にならないために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	サービス A	(訪問型) 要支援 1, 2 及び基本チェックリストによる事業対象者に, 介護保険事業所による家事等の生活支援を提供します。 (通所型) 介護保険事業所による体操・運動等の活動, 食事やレクリエーション等を提供します。	サービス A として自立支援をより意識して取り組んでいるが, コロナ禍の影響から利用控えや新規利用の伸び率が少ない傾向にある。	高齢福祉課
⑤	サービス C	(訪問型) 要支援 1, 2 及び生活機能の低下が見られる方に, 理学療法士, 作業療法士等のリハビリ専門職, 訪問介護員による在宅での短期集中プログラムを実施します。 (通所型) 要支援 1, 2 及び生活機能の低下が見られる方に, リハビリ専門職等による機能改善短期集中プログラムを実施します。	サービス C のマネジメントを地域包括支援センター全職員が実施できるように, 事業の目的や流れについての研修会を開催した。また, 支援者向けマニュアルと対象者への説明ファイルを整備した。 サービス C のマネジメントで活用している ICF (国際生活機能分類) についての理解をより深められるよう研修会を 2 回に分けて開催した。 令和 3 年度より, サービス C 利用者へフィードバックを実施した。卒業後の様子をモニタリングし, 事業効果を検証できるような体制を構築した。	高齢福祉課
⑥	介護予防 ケアマネジメント	サービス利用を希望する方に, 介護予防・生活支援を目的に, 心身の状況などに応じて本人が自立した生活を送ることができるよう地域包括支援センターが本人と共にケアプランを作成します。	利用者に対する自立支援への意識付けがまだ十分でないため, 自立支援に資するケアマネジメントに向けた取組が継続して必要である。本人がセルフマネジメントできる体制構築を目標とし, 多職種からのアセスメントが可能となる仕組みづくりを地域ケア会議でも協議しながら行う。	高齢福祉課
⑦	介護予防把握事業	要支援 1, 2 のサービス未利用者等を「集いの場」等, 住民主体の介護予防活動へつなげます。	地域の活動自体がコロナ禍で中止しているところも多く, 地域活動の情報収集をしながら, 未利用者の実態把握, 活動への勧奨を実施した。	高齢福祉課
⑧	介護予防 普及啓発事業	介護予防に関するパンフレット配布や介護予防講演会, 介護予防教室, 転倒予防教室, 出張講座等を開催し, 介護予防活動の重要性を周知します。	地域包括支援センターにて, 各包括エリアの地域課題等実情に応じた介護予防教室, 転倒予防教室の内容を実施した。また, 昨年度に引き続き, 熱中症事業にて, チラシにフレイル予防の記事を載せて啓発に努めた。出張講座も地域の住民グループ等の求めに応じて開催した。「いきいき高齢社会をめざす市民の集い」と合同開催で介護予防講演会を実施した。「つながりあって介護予防withコロナ」をテーマとし, コロナ禍における介護予防活動の重要性について周知した。(参加者 55 人)	健康推進課 高齢福祉課

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
⑨	地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取組を強化するため、地域で行う介護予防活動にリハビリ専門職などが参加します。	東京都のモデル事業である「区市町村における多様な予防プログラムの展開支援（ちょいたし事業）」、集いの場の立ち上げ説明会等の介護予防事業に協力いただき、介護予防の取り組み強化に努めている。	高齢福祉課
⑩	一般介護予防事業 評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、一般介護予防事業の評価を行います。	介護予防部会にて、介護予防事業についての実施報告及び実施方針について、医師会・歯科医師会・通所事業所の代表者に共有した。特に、令和3年度に重点的に取り組んだ東京都のモデル事業（ちょいたし事業）についての進捗状況を報告し、必要時には連携したい旨をお願いした。また、コロナ禍における集いの場についての現状も引き続き情報共有した。	高齢福祉課
⑪	後期高齢者医療 健診・歯科健診	市内に住所を有する東京都後期高齢者医療広域連合の被保険者（75歳以上の方又は65歳以上74歳までの一定の障害認定を受けている方）を対象として、疾病等の早期発見・治療を図り、高齢期における健康の保持増進を目的として実施します。	健診については、緊急事態宣言下の受診率が低下し、受診期限を一律2月28日までとした。受診者数は7,441人となった。歯科健診については、ポスター、市報等での周知や前年度75歳到達者を対象者に受診券を発行し積極的勧奨を行った。機能低下予防のためのパンフレットを作成し、高齢期の歯科保健の普及・啓発に取り組んだ。受診者数は621人となった。	健康推進課 保険年金課
⑫	地域生きがい 交流事業	生きがいを持って社会参加を続けられるように、生きがい創作、文化活動、介護予防、健康増進、交流、レクリエーションに関する事業を実施します。	市内6か所の生きがいセンターで、1年を3期に分けて23講座を実施し、各期の最後には各センターで受講者同士の交流会・発表会を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1期（4/25～6/20）を中止し、再開後も、感染対策を十分に行いながら実施した。	健康推進課

施策評価票

1-2

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①医療・介護多職種連携事業
施策の方向2	在宅生活をできるだけ続けていくために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, 地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	医療・介護多職種連携事業については、目標値を下回っているものの、研修を実施し連携が取れる体制は構築されていた。他の事業についても、希望すれば適切にサービスを利用することができているため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 医療・介護多職種連携事業については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも目標値を9割以上達成していることは高く評価できる。高齢者生活支援ショートステイ事業及び高齢者緊急ショートステイサービス事業については、ケアマネジャーに対する周知を行うことで事業の利用につながるのではないかな。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

1-2

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向2	在宅生活をできるだけ続けていくために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	医療・介護多職種連携事業	住み慣れた地域で自分らしく最期まで住み続けられることを実現するためには、医療と介護の切れ目のない提供体制が望まれます。医療と介護の多職種が一体的なチームとなって高齢者及び介護者を支援できるよう、地域包括支援センターを軸とした相談対応やケアマネジメント、研修会等を通じて多職種連携を推進します。	地域包括支援センターが保健医療機関と「連絡・連携」した延べ件数(回)	1,695	1,725	1,755	B	新型コロナウイルス感染対策のため病院の面会が制限をされていることで、在宅医療・介護の相談件数が増加した。自宅での看取りのケースも増えているため、多職種向けにACP(アドバンス・ケア・プランニング、人生会議)について研修を実施した。	高齢福祉課
				1,562					

基本目標 1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向 2	在宅生活をできるだけ続けていくために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	地域ケア会議「医療・介護連携部会」を活用した推進	地域ケア会議「医療・介護連携部会」を活用し、在宅医療・介護連携に係る課題の抽出・解決策等の協議・検討を行います。	医療・介護連携部会を2回開催した。認知症総合支援事業について協議し、関係者の支援状況や課題について共有した。	高齢福祉課
③	高齢者生活支援ヘルパー事業	骨折等により短期間で回復が見込まれる方や、要支援・要介護認定更新時に非該当と認定された方に、期間を決めて生活援助及び身体介護を行います。	延べ5人が利用した。新型コロナウイルス感染症の影響による筋力低下のためか、全員が転倒による骨折・打撲での利用だった。	高齢福祉課
④	高齢者寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	居住環境により寝具の自然乾燥を行うことが困難な方に対し、寝具類の乾燥等を行います。	利用者が1人増となった。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、寝具の衛生保持に関心のある方から事業の問合せも例年より増えている。	高齢福祉課
⑤	高齢者等訪問福祉理容・美容サービス事業	要介護3以上で、理容サービスが受けられない方に訪問理容・美容サービスを実施します。	申請者数は288人、年間延べ利用回数は533回であり、前年度と比べて増加している。	高齢福祉課
⑥	高齢者生活支援ショートステイ事業	要支援・要介護認定を受けていない方で介護者不在等により緊急性が高い場合に、短期入所（ショートステイ）の利用を支援します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
⑦	移動・送迎サービス事業	高齢者・障害者等移動困難者の通院時等の移動手段を確保するため、NPO法人等に対し、道路運送法に基づく福祉有償運送団体登録事務等の支援を行います。	平成30年度末に1団体が事業継続困難となったが、事業を継続している1団体の支援を続けている。	地域共生推進課
⑧	高齢者等紙おむつ等支給事業	在宅の要介護3以上で、常時おむつを使用する方へ、紙おむつ及び尿取りパッドを支給します。	新規利用者数は増加したが、延べ利用者数は減少した。そのため、紙おむつ等総支給数も減少となった。	高齢福祉課
⑨	高齢者緊急ショートステイサービス事業	要支援・要介護認定を受けている方で、同居家族の疾病・事故などにより一時的に保護が必要な方に対し、国分寺市指定の事業所へ短期入所（ショートステイ）の利用を支援します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
⑩	高齢者送迎サービス事業	国分寺市の区域を送迎対象としない隣接市の介護保険通所リハビリテーションサービス及び入退所の際に送迎サービスを行います。市町村特別給付として実施します。	主に市の区域を送迎対象としない隣接市の通所リハビリテーションサービス等への送迎のための利用があった。	高齢福祉課

施策評価票

1-3

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る	重点事業	①家族介護者交流会
施策の方向3	家族の介護負担を軽減するために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	家族介護者交流会は、目標値は下回ったものの、感染対策を行いながら実施したことは評価できる。家族介護慰労金支給事業は実績がないものの実施できる体制は整っていたこと、その他の事業も感染対策を行いながら実施したことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

1-3

基本目標1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向3	家族の介護負担を軽減するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	家族介護者交流会	高齢者や介護に関わる家族を対象に, 介護に関する勉強会や介護者間の交流を地域包括支援センターが行います。	延べ参加者数 (人)	200 92	210	220	C	目標人数は下回ったが, コロナ禍でも開催場所や人数を減らす等の工夫を行い, 各地域包括支援センターにおいて交流会を実施した。	高齢福祉課

基本目標 1	健康で、できるだけ自分の力を活かして在宅生活を送る
施策の方向 3	家族の介護負担を軽減するために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	はいかい高齢者等 家族支援サービス 事業	はいかいのある認知症高齢者等を介護している家族に対し、位置探索機の貸与等を行い、早期に発見できる体制を整え、安心して介護できる環境を整備します。	ストラップによる携帯が可能なものと、専用靴にも装着可能な探索機の2種類を提供している。また、対象者のはいかい時に備えた保険も付帯している。令和3年度末時点の利用者は27人であった。	高齢福祉課
③	家族介護慰労金 支給事業	介護保険サービス利用のない要介護4、5の方の介護を行っている家族へ介護慰労金を支給します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。	高齢福祉課
④	認知症の人を支える 家族の会の開催支援	家族の負担軽減や交流のための家族会が行う懇談会の開催支援のほか、講演会などを共催します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学会及び認知症講演会は中止とし、毎月懇談会のみの開催とした。	高齢福祉課
⑤	認知症カフェ	認知症の方やその家族、地域の方が気楽に集まり、認知症や介護に関することなどの相談・情報交換ができる場を提供します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場における対面型に加え、オンライン型のカフェを導入し実施した。	高齢福祉課

施策評価票

2-1

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①要介護認定の適正化, ②ケアプラン点検, ③縦覧点検・医療情報との突合
施策の方向1	安心して介護サービスを利用するために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, 地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	要介護認定の適正化については, 認定調査員及び介護認定審査会委員に周知を図ったことで認定の平準化に寄与すると考えられる。他の事業についても適切に実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 ケアプラン点検では, ケアプラン点検の他にも, ケアマネジメントの質向上に際し, 居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して, 年6回程度, 研修が行われていることが確認された。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-1

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向1	安心して介護サービスを利用するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	要介護認定の適正化	全国一律の基準に基づいて要介護認定の適正化を図ります。 【今後の方向性記載の内容】 ・審査判定の傾向・要因について分析し、判定のばらつきの解消・適正化を行う。 ・調査票の特記事項の記載方法の統一を行う。 ・審査判定のばらつきの改善状況を確認し、新たな課題の分析を行う。 ・傾向の把握、改善状況の確認を行い、新たな課題についての分析を行う。 ・介護認定審査会委員全体会による情報共有を行い、審査判定を平準化する。 ・テキスト、eラーニング等を活用し、介護認定審査会委員の勉強会や調査票確認時の指導を行う。	今後の方向性記載の内容を実施	継続	継続	継続	B	審査判定の傾向・要因について分析や確認を行った。調査票の特記事項の記載方法の統一、調査票確認時の指導を行い、認定調査員連絡会を実施した。また、介護認定審査会委員全体会については、コロナ禍により通知等で対応した。	高齢福祉課
				継続					
②	ケアプラン点検	ケアマネジャーと保険者が共にケアプランの確認を行うことにより、自立支援に資するケアマネジメントの質の向上を目指します。	ケアプラン点検支援事業実施事業所数(件)	2	2	2	A	東京都国民健康保険団体連合会から提供される給付実績等の情報を活用し、ケアマネジャーと保険者が共にケアプランの確認を行い、自立支援に資するケアマネジメントに向けた意識の共有化を図った。	高齢福祉課
				2					
③	縦覧点検・医療情報との突合	報酬請求が誤っている可能性の高い事業所に対して確認等を行い、適正な報酬請求を促します。 【今後の方向性記載の内容】 ・縦覧点検・医療情報との突合について、未実施の項目の点検を実施する。 ・効率性を高め、点検実施件数を増やす。研修会や出張説明を活用し、点検ノウハウを高める。 ・システムマニュアルを活用し、点検を効率化し、定期的に実施する。	今後の方向性記載の内容を実施	継続	継続	継続	B	東京都国民健康保険団体連合会の介護給付適正化関連システム研修会の受講等により点検ノウハウを高め、点検効率を高めながら定期的に実施した。	高齢福祉課
				継続					

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 1	安心して介護サービスを利用できるように (取組事業)

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	事業者指導・育成	介護保険サービスの質を確保するため、集団指導、実地指導により、市内介護保険事業所の指導・育成を図ります。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実地指導については三密回避のため市役所会議室にて実施し、集団指導は動画視聴形式により実施した。また、集団指導は実施対象サービスの拡大や立川労働基準監督署との連携による労働関係動画の作成等、新たな試みも実施している。今後も感染状況に柔軟に対応しつつ適切かつ効果的に指導を実施していく。	地域共生推進課
⑤	第三者評価の受審の促進	サービス提供事業者が第三者の評価を受けてサービスの質の向上に努めることにより、利用者は安心してサービスを受けることができます。また、客観的な評価情報が公開されることで、利用者が容易にサービスを選択できるよう、第三者評価の受審を働きかけます。	第三者評価の受審により、利用者のニーズ把握や事業者周知に役立つ評価結果の取得など、事業者のメリットも打ちだしながら、一層の受審促進を図った。また、第三者評価制度の普及・定着をより高めるために、事業者や利用者との接点があり、受審義務あるいは受審意向のある新規対象事業者等を把握している各分野の事業主管課と調整を図った。	地域共生推進課 高齢福祉課
⑥	介護サービス相談員派遣等事業	施設介護サービス等の場を訪問し、利用者の日常的な不安や疑問等の相談に応じ、介護保険サービスの円滑な提供と質的向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護サービス相談員による介護施設への訪問は全て中止とした。介護サービス相談員と情報共有を行う会議については、対面で1回、書面で1回開催し、今後の訪問活動について介護サービス相談員の意見聴取を行った。	高齢福祉課
⑦	苦情受付窓口の設置	利用者等がサービスに対する意見を言い、サービス利用者の意見を反映できる仕組みを活用することにより、権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図ります。	利用者等のサービスに対する意見を聞き、東京都国民健康保険団体連合会に報告を行うことで、利用者の権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図った。	高齢福祉課
⑧	住宅改修・福祉用具点検	受給者の実態にそぐわない不適切又は不要な住宅改修等が行われていないかを点検し、適切な住宅改修等の給付がなされているか確認します。	支給申請書等の確認及び点検を通じて、適切な住宅改修等の給付を図った。	高齢福祉課
⑨	介護給付費通知	居宅サービス等の受給者がサービス内容及び費用の確認を自ら行うことにより、適切なサービス利用の普及啓発を行います。	介護給付費通知を行い、受給者がサービス内容及び費用の確認を自ら行うことにより、適切なサービス利用の普及啓発を図った。	高齢福祉課

施策評価票

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①地域資源管理システムによる情報提供
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	情報提供については地域包括支援センターと連携して実施している。また、パンフレットの作成やシステムの活用、相談活動や講座の開催等、様々な方法で行っていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	地域資源管理システムによる情報提供	地域で介護予防に取り組む団体や、高齢者の生活支援に関するサービス等の地域資源をシステム上で管理・マップ化し、必要な方に適切な情報が行き届くよう効果的な提供方法を検討していきます。	地域資源管理システムの活用	構築	構築	介護保険事業者へ公表	B	地域包括支援センターに配置されている第2層生活支援コーディネーターに地域資源の把握を依頼し取りまとめてシステムに掲載した。作業マニュアルを作成し、コーディネーターと行政間で効果的な情報の共有、提供方法を検討している。	高齢福祉課
				構築					

2-2

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向2	情報を必要な人につなげるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	多様な情報を提供する仕組みづくり	適切なサービス利用につながるよう、様々な媒体を使って誰もが必要な情報を入手できる仕組みを検討します。	介護保険制度を周知するためのパンフレット、介護保険事業者ガイドブックを作成し、適切なサービスを利用できるよう情報提供を行うとともに、介護事業者検索システムに小規模多機能型居宅介護事業所の空き情報を新たに追加し情報提供の充実を図った。また、市民に対しては地域包括支援センターを中心とした訪問や相談、講座等により周知を図った。	高齢福祉課

施策評価票

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①総合相談支援事業
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	高齢者やその家族からの相談内容は多問題・多世代の複合的なケースが増えてきており、高齢分野を超えた対応力や相談対応のスキルアップが必要である。相談体制自体は整っており関係団体等との連携も取れていることを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 総合相談支援事業については、相談件数だけではなく、支援体制である人員を指標として挙げるなど、指標として工夫をしてほしい。 関係団体・民生委員等との連携強化については、当該年度に行った具体的な取組や数値を記載してほしい。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	総合相談支援事業	地域包括支援センターにおいて、高齢者やその家族等支援を必要とする方からの様々な相談に対して、情報提供や各種サービスの調整等を行います。	相談件数(件)	継続	継続	継続	B	相談件数に大幅な増減はなく推移している。相談内容は、多問題・多世代の複合的なケースが増えてきており、高齢分野を超えた対応力が必要となってきた。さらに相談対応のスキルアップが必要である。(令和3年度の相談件数は26,030件)	高齢福祉課
				継続					

2-3

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向3	高齢者の悩みや不安等の解消に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	関係団体・民生委員等との連携強化	高齢者やその家族等支援を必要とする方からの様々な相談に対して、庁内の関係部署や関係機関との円滑な連携により、市民サービスの向上に努めます。また、地域で活動する民生委員やボランティアとの連携を強化します。	年々、高齢分野だけでは対応しきれない、多世代にわたる複合的かつ複雑なケースの相談が増えてきている。地域共生推進課が所掌する重層的相談支援体制整備とも連携し推進していく。	高齢福祉課
③	介護サービス相談員派遣等事業【再掲】	施設介護サービス等の場を訪問し、利用者の日常的な不安や疑問等の相談に応じ、介護保険サービスの円滑な提供と質的向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護サービス相談員による介護施設への訪問は全て中止とした。介護サービス相談員と情報共有を行う会議については、対面で1回、書面で1回開催し、今後の訪問活動について介護サービス相談員の意見聴取を行った。	高齢福祉課

施策評価票

2-4

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向4	安全確保に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課, 防災安全課, 地域共生推進課, 交通対策課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	防災まちづくり推進地区を目指す意向が示された2自治会に対する支援は、今後、住民組織による高齢者世帯等の安全確保につながると考えられる。その他の事業についても、滞りなく事業を進めたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-4

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 4	安全確保に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	高齢者救急通報システム等事業	ひとり暮らし又は高齢者のみ世帯等へ東京消防庁等に自動通報する機器を設置します。	新規利用 2 件、死亡や入所による辞退 9 件。 サービス利用要件に電話回線を必須としているが、回線を持たない利用者のニーズが一定あるため、回線がなくても利用できるサービスを追加で導入することを検討する。	高齢福祉課
②	住民組織（自主防災組織等）による高齢者世帯等の安全確保の仕組みづくり	防災まちづくり推進事業の一環で地域における防災力の向上を目指すことを目的として、国分寺市と地域との間で「防災まちづくり推進地区」としての協定を結び、防災活動に積極的な地域においては高齢者世帯等の安全確保及び見守りを行い地域活動の支援をします。	南町一丁目自治会及び本町二丁目北町会より、防災まちづくり推進地区を目指していくとの意向が確認されたため、市民防災まちづくり学校の紹介、出前講座による「防災まちづくり推進地区」指定までの流れの説明や防災活動の支援を行った。	防災安全課
③	避難行動要支援者登録制度	大地震などの災害発生時に、自力で避難することが困難な方の避難支援等を迅速・的確に行うことを目的に名簿を作成します。	令和 3 年度も名簿データを更新し、同意勧奨通知を発送した。また、安否確認訓練の実施とあわせて制度について市報で周知し登録促進につなげた。避難行動要支援者登録制度の周知や運用手法の改善を進め、より実効性の高い制度として運用していく。	地域共生推進課
④	行方不明者通報時の情報発信	行方不明者の早期発見のために、生活安全・安心メールを活用し情報発信を行います。	市民からの依頼に基づき配信しており、令和 3 年度は 4 件の依頼があった（うち 2 件は配信直前に発見され、配信を取り止めた）。早期発見のために有効なツールの一つとなっている。生活安全・安心メールの登録者は令和 3 年度末時点で 20,470 人となっている。	高齢福祉課 防災安全課
⑤	高齢者に対する交通安全教育・啓発	加齢に伴う身体機能の低下や事故発生実態等を踏まえ、様々な高齢者が集まる機会において交通安全教育を実施します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた「市民のつどい」は中止となった。「敬老会」においては、啓発グッズやチラシを配布して交通安全の啓発を実施した。	交通対策課
⑥	高齢者の安否確認方法の検討	民間の見守りサービスの活用等、多様な高齢者の安否確認の方法を検討します。	見守りサービス（情報通信技術を活用した通信機能付き機器等により対象者の生活状況を把握することができるサービス）の活用を推進するための方策を検討している。	高齢福祉課

施策評価票

2-5

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向5	社会からの孤立を防ぐために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課, 地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	第1層協議体を第1層生活支援コーディネーターが中心となって実施したこと、その他の事業についても感染拡大防止に配慮しながら実施したことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-5

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 5	社会からの孤立を防ぐために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	生活支援・介護予防サービス体制整備の推進	国分寺市、第1層生活支援コーディネーター及び地域の関係団体とサービス整備推進会議を開催し、生活支援・介護予防サービス体制整備の推進に向け協議を行います。また、各地域包括支援センターに配置した第2層生活支援コーディネーターが地域において活動できるように、協議体開催の支援等を行います。	第2層生活支援コーディネーターにおける協議体開催や地域づくりを起点としながら、第1層協議体（国分寺市生活支援・介護予防サービス整備推進会議）について、第1層生活支援コーディネーターが中心に実施した。	高齢福祉課
②	ひとり暮らし高齢者等地域交流会の実施	社会福祉協議会では、ひとり暮らし高齢者のひきこもりを防ぎ、孤立することがないように、地域において交流会を実施しています。また、歌・軽体操、異世代間の交流や警察署・消防署からの情報提供などもあわせて行っています。	令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、前年度同様会場の使用制限等もあり、飲食を伴った開催はできなかったが、各会のボランティアが個々に訪問し安否確認したり、短時間での顔合わせや近況報告などを行い、孤立感を少しでも解消できるよう工夫した。	地域共生推進課
③	敬老事業	敬老の日がある9月に、75歳以上の方の長寿を祝う敬老会、100歳の方及び最高齢の方への市長の表敬訪問、100歳以上の方への敬老記念品の贈呈を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、100歳以上の方への訪問と記念品贈呈は郵送により行った。敬老会は事前申込制とし感染対策を行った上で実施した。	高齢福祉課

施策評価票

2-6

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向6	高齢者の多様な住まいの確保に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	高齢者民間賃貸住宅のあっせんについては、利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。その他の事業は適切に実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-6

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 6	高齢者の多様な住まいの確保に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	福祉型高齢者住宅事業（シルバーピア）	都営住宅内に設置された高齢者住宅（シルバーピア）に生活援助員を派遣し、居住者の相談に応じ、緊急時の対応を行います。	高齢者の居住の安定と社会福祉増進を図るため、社会福祉法人に委託してLSA（生活援助員）方式を採用している。	高齢福祉課
②	高齢者民間賃貸住宅のあっせん	取壊しなどの理由により転居の必要がある方に対し、東京都宅地建物取引業協会にあっせんを依頼します。	利用実績はなかったものの、実施できる体制は整っていた。引き続きセーフティネットとして事業を継続する必要がある。	高齢福祉課
③	高齢者住宅確保事業	住まいに困っている低所得者のひとり暮らし高齢者に対して、国分寺市が借り上げた住居を提供し、生活の安定を図ります。	老朽化に伴う建替え後、再度借り上げを行い、完成後の令和4年2月より入居を開始した。	高齢福祉課
④	高齢者居住の公的保証	取壊しなどの理由により転居の必要があり保証人がいない方のために、国分寺市が保証人となり住宅を確保します。	新規利用はなく、継続利用の方が1人いる。民間企業の保証人サービス等もあるため研究が必要である。	高齢福祉課
⑤	高齢者自立支援住宅改修給付事業	高齢者の住環境を改善することにより、転倒の防止、安全な住環境の整備を図ります。	介護保険給付外の改修について給付を行っている。介護保険制度を補完し、高齢者の在宅生活の維持に資する事業であり、継続する必要がある。	高齢福祉課

施策評価票

2-7

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	
施策の方向7	外出しやすいまちを目指して	担当課 (重点事業担当課には☆印)	道路管理課, 交通対策課, 高齢福祉課, まちづくり計画課, 建設事業課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	全ての事業について適切に事業を進めたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 今期の事業には含まれていないが、「外出のしやすいまち」とは、単に交通環境の整備やバリアフリー化等のハード面だけでなく、地域の生活環境の違いによる外出のしにくさ(坂, スーパーが少ないなど)が勘案される必要がある。地域の状況による現状がわかるような評価が望ましい。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-7

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 7	外出しやすいまちを目指して（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	道路交通秩序の維持	高齢者や障害者等の歩行者の安全を確保するため歩道の整備、放置自転車、違反広告物看板の撤去等利用しやすい道路交通秩序の維持に努めます。	道路を不法に占用する違反広告物看板等を発見した際は、設置者に対し早急な撤去を指導した。また、放置自転車対策として、年間を通して駅周辺の自転車等放置禁止区域を中心に放置自転車への警告や撤去を実施した。	道路管理課 交通対策課
②	高齢者運転免許 自主返納支援事業	高齢者の自動車運転事故の未然防止、社会参加の支援のため、65歳以上で運転免許の自主返納をした方に対し、ぶんバスの無料乗車許可証（ぶんPass）を支給します。	ぶんPassの支給件数は前年度と同水準で増加しており、高齢者の自動車運転事故の未然防止、社会参加の支援に貢献している。	高齢福祉課
③	バリアフリーの推進	バリアフリーに関する基本構想を策定し、バリアフリーの推進に努めます。また、利用者及び市民の安全確保のため、鉄道会社と連携して、駅のホームドアの設置に向け取り組みます。	国分寺市バリアフリー基本構想を策定した。令和4年度に特定事業計画を作成し、バリアフリーの具体的な事業の推進に努める。また、駅のホームドア設置については、令和2年度に西武鉄道国分寺駅への設置を完了した。残りの駅についても、鉄道事業者を引き続き働きかけを実施していく。	まちづくり計画課
④	道路交通環境の整備	歩行者等を自動車交通から分離し、道路交通の安全と円滑化を図るため、都市計画道路・交差点改良等の整備に合わせ歩道の整備を推進します。	国3・4・12号線及び国3・4・1号線について、歩道整備の検討を進めた。	建設事業課

施策評価票

2-8

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築
施策の方向8	個人の権利を尊重するために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, 地域共生推進課, 経済課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築について、必要な機関との連携や支援を継続しており、参加機関数も目標値を上回っている。その他の事業でも市民への情報提供の機会を設けたり、支援を行ったりしていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-8

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向8	個人の権利を尊重するために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	高齢者虐待防止に向けた地域におけるネットワークの構築	高齢者本人と養護者に対して適切な支援や継続的な見守りを行い、虐待の未然防止・早期発見のため、地域における様々な関係者のネットワーク強化を図ります。	国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク参加機関数	67	69	71	A	虐待ケースの対応のため、必要な機関との連携、支援を継続している。	高齢福祉課
				70					

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 8	個人の権利を尊重するために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	消費者被害の防止	高齢者を狙う悪質商法や、消費者被害等を未然に防止するために地域住民への情報提供、被害からの救済に必要な支援を行います。	市民向けの講座について、例年は市内を東西に分けて開催していたが、感染症対策のため地域包括支援センターごとに1回ずつ開催した。関係機関からの情報提供や参加者自身の経験を話してもらい、注意喚起を行った。 また、今年度地域包括支援センター等の関係機関とともに消費者見守りネットワーク協議会を設置した。連携を強化し、各機関での取組等を集約し、トラブル時の相談先などを掲載した消費者見守りネットワークだよりを発行した。	経済課 高齢福祉課
③	高齢者成年後見制度利用支援事業	判断能力の低下により、自ら財産管理を行ったり、日常生活を営むことが困難な方やその親族への制度利用支援を行います。	権利擁護センター等と連携して支援のほか、身寄りがいない等の理由で親族が申立てできないケースについては市長申立を検討し、対応した。	地域共生推進課 高齢福祉課
④	苦情受付窓口の設置 【再掲】	利用者等がサービスに対する意見を言い、サービス利用者の意見を反映できる仕組みを活用することにより、権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図ります。	利用者等のサービスに対する意見を聞き、東京都国民健康保険団体連合会に報告を行うことで、利用者の権利擁護、サービスの質の維持・向上等を図った。	高齢福祉課
⑤	第三者評価の受審の促進 【再掲】	サービス提供事業者が第三者の評価を受けてサービスの質の向上に努めることにより、利用者は安心してサービスを受けることができます。また、客観的な評価情報が公開されることで、利用者が容易にサービスを選択できるよう、第三者評価の受審を働きかけます。	第三者評価の受審により、利用者のニーズ把握や事業者周知に役立つ評価結果の取得など、事業者のメリットも打ちだしながら、一層の受審促進を図っていく。また事業者や利用者との接点があり、受審義務あるいは受審意向のある新規対象事業者等を把握している各分野の事業主管課が所掌することで第三者評価制度の普及・定着をより高めることができる。	地域共生推進課 高齢福祉課
⑥	高齢者虐待に対する正しい知識・理解の普及	地域住民や介護サービス事業者等の関係者が高齢者虐待に対する理解を深めることで、虐待の未然防止・早期発見に努められるよう、必要な支援を行います。	弁護士を講師に招き、「権利擁護の視点から考える高齢者虐待」をテーマに虐待対応研修を1回実施した。また、虐待対応マニュアルの見直しに伴い、居宅介護支援事業所向けの勉強会も開催した。	高齢福祉課

施策評価票

2-9

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める	重点事業	①チームオレンジの構築
施策の方向9	認知症施策の推進に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, ☆健康推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	チームオレンジの構築に向け、認知症地域支援推進員連絡会で検討を実施している。また、認知症についての知識の普及啓発や認知症の方とその家族を支える事業について感染対策を取りながら実施されていることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

2-9

基本目標2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向9	認知症施策の推進に向けて（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	チームオレンジの構築	認知症の方やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジを構築します。	認知症地域支援推進員連絡会開催回数(回)	3	3	3	A	チームオレンジの構築に向けて、認知症地域支援推進員連絡会で検討を実施した。市民キャラバン・メイト向けに認知症サポーターステップアップ講座を実施し、認知症の方とその家族のニーズについて情報共有を行った。	高齢福祉課 健康推進課
				6					

基本目標 2	だれもが安心して暮らせる環境づくりを進める
施策の方向 9	認知症施策の推進に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	認知症普及啓発講演会の開催	認知症になっても安心して暮らせる国分寺を目指して、市民に認知症について正しい知識を普及啓発するための講演会を実施します。	認知症普及啓発月間(11月)に毎年1回実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での受講者の人数制限とYouTube視聴を実施した。	健康推進課
③	認知症初期集中支援推進事業	医療と介護の専門職がチームとなり、認知症の疑いのある方等の自宅に訪問し、本人や家族の相談に応じ、必要な支援を行います。	家族の相談を受けて1件初期集中支援チームにて訪問した。	高齢福祉課
④	認知症キャラバン・メイト養成	認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成講座について、東京都主催の講座に受講者を推薦するほか、国分寺市主催の講座を開催します。	国分寺市主催の養成講座を令和4年度実施予定としている。令和3年度は他の研修との調整の結果、東京都主催の講座に受講生の出席はなかった。	健康推進課
⑤	認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーターステップアップ講座を実施し、地域で活躍する人材育成を図ります。	認知症の有無に関わらず、誰もが自分のことを理解してもらえ、安心して穏やかに話せるような地域づくりについて、市民キャラバン・メイトとともに考える機会を図るため、市民キャラバン・メイト10人を対象にステップアップ講座を実施。	高齢福祉課
⑥	認知症サポーターフォローアップ講座	認知症の理解をさらに深める認知症サポーターフォローアップ講座を実施し、普及啓発を図ります。	認知症普及啓発月間(11月)に実施。認知症サポーターを対象に、認知症サポーター養成講座内容の復習及び、認知症の方への声掛け訓練の実習を実施した。	健康推進課
⑦	認知症の人を支える家族の会の開催支援【再掲】	家族の負担軽減や交流のための家族会が行う懇談会の開催支援のほか、講演会などを共催します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学会及び認知症講演会は中止とし、毎月懇談会のみで開催とした。	高齢福祉課
⑧	認知症カフェ【再掲】	認知症の方やその家族、地域の方が気楽に集まり、認知症や介護に関することなどの相談・情報交換ができる場を提供します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場における対面型に加え、オンライン型のカフェを導入し実施した。	高齢福祉課
⑨	認知症サポーターの養成	認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である、認知症サポーターを養成する講座を実施します。	国分寺地域包括支援センター主催、企業・団体からの依頼を受けて実施した。年間14回実施し、154人が受講した。	健康推進課

施策評価票

3-1

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める	重点事業	①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進, ②地域ケア会議の効果的な運営
施策の方向1	地域福祉を進めるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, 地域共生推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	目標値は下回っているものの、第1層生活支援コーディネーター及び第2層生活支援コーディネーターと連携して生活支援・介護予防サービス体制整備の推進を行うことができている。その他の事業についても適切に実施されていることを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価とおおむね相違なし。 「①生活支援・介護予防サービス体制整備の推進」事業については、コロナ禍で思うように活動ができなかったことや、協議体という形にとらわれず地域福祉に関する様々なミーティングが行われていることを踏まえると、「C」よりも高く評価することができる。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

3-1

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向1	地域福祉を進めるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値、下段が実績値					
①	生活支援・介護予防サービス体制整備の推進	国分寺市、第1層生活支援コーディネーター及び地域の関係団体とサービス整備推進会議を開催し、生活支援・介護予防サービス体制整備の推進に向け協議を行います。また、各地域包括支援センターに配置した第2層生活支援コーディネーターが地域において活動できるように、協議体開催の支援等を行います。	第1層協議体の開催回数	4 3	4	4	C	第2層生活支援コーディネーターを中心に、地域包括支援センターごとに協議体開催や地域づくりに関わる活動を実施した。コロナ禍で思うような活動の実施ができなかったが、地域の核となる人との連携を図っていた。第1層生活支援コーディネーターと市が連携し、第2層生活支援コーディネーターがコロナ禍でも地域づくりに関わる取組につながるよう一緒に検討を実施した。	高齢福祉課
			第2層協議体の設置数	6 3	6	6			
②	地域ケア会議の効果的な運営	地域ケア会議の開催により、地域のネットワーク構築、多職種の連携による地域づくりを推進します。	地域ケア会議（回）	2	2	2	B	第8期より、東西地区のセンター合同で行っていた小地域ケア会議を地域包括支援センターごとの開催とし、それぞれの圏域の特性を反映した地域課題を第2層協議体ともリンクして地域包括システム推進を図ることとした。 医師会、歯科医師会、民生・児童委員、地域の介護支援事業所等が参加することで、医療・介護等多職種による連携体制の基盤づくりができています。 今後は地域ケア個別支援会議や小地域ケア会議からの地域課題抽出等に注力し、地域ケア会議の会議体間での循環や連動を目指していく。	高齢福祉課
				2					
			小地域ケア会議（回）	12	12	12			
				12					
			地域課題検討会議（回）	随時	随時	随時			
				随時					
			地域ケア個別支援会議（回）	120	120	120			
				105					
			地域ケア会議専門部会（回）	6	6	6			
				6					

基本目標 3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向 1	地域福祉を進めるために （取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
③	地域福祉推進協議会の開催	地域福祉計画に基づき「地域福祉推進協議会」を開催し、情報交換、交流を通じ、委員同士、団体間でのつながりにより、地域の支え合い、地域福祉の推進に取り組みます。	地域福祉推進協議会を2回開催し、委員は「活動情報・取組シート」による情報共有や、取組紹介を通じた相互交流を行った。また、互いの活動に共感し、新型コロナウイルス感染拡大防止策を踏まえた新たな視点による取組を学ぶなど、つながりの進展に向けて取組を進めた。	地域共生推進課

施策評価票

3-2

基本目標3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める	重点事業	
施策の方向2	市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	高齢福祉課, 協働コミュニティ課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	感染対策を取りながら継続して事業を実施していることから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

3-2

基本目標 3	少子高齢社会を迎え地域福祉を進めるために市民一人ひとりが福祉の意識を高める
施策の方向 2	市民活動・ボランティア活動等の活性化に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	市民活動などに関する情報提供・ネットワークづくり	こくぶんじ市民活動センターでは、市民活動に関する情報の収集及び提供を行います。また、市民活動団体に対する活動の相談やコーディネート、市民活動団体間の交流や市と市民活動団体との協働の促進のほか、市民活動団体の拠点として、活動の場及び設備の提供を行います。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクティ・ココブンジ（市民活動センター）の休館等もあり、市民活動団体に対する活動の場の提供を十分に行えたとは言えなかったが、市民活動フェスティバルについては、会場を分散するとともにオンラインを活用するなど、実施方法を工夫し、感染防止対策を行った上で2年ぶりに実施することができた。今後も、引き続き団体間の交流の活性化を図っていく。協働事業に関しては、提案型協働事業の事前相談に対し、コーディネーターとともに丁寧な対応を行い、2件の採択となった。今後も、行政側のニーズと市民活動団体側の活動内容のマッチングが図られるよう、コーディネートを積極的にやっていく。	協働コミュニティ課
②	老人クラブの支援	地域活動や生きがい活動など様々な活動を通して、高齢者の健康で豊かな生活の実現を支援します。	老人クラブに対して、補助金を交付し、活動を継続的に支援した。老人クラブの運営には、自主財源の確保と組織率を高めることが必要のため、市報での情報提供や会員増強に向けた活動への支援等を行った。	高齢福祉課
③	介護支援ボランティアの育成	高齢者を介護保険施設等で従事していただく介護支援ボランティアとして育成し、健康づくりや社会貢献など生きがいを創出し、介護予防を実現します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、31の登録施設のうち4施設のみが受け入れている状況であり、積極的なPRはできていない。令和3年度末時点の登録者数は21人となっており、各施設と連携しながら事業を継続した。	高齢福祉課
④	生活支援隊・介護予防応援隊の確保・育成	基礎研修・現任研修・フォローアップ研修を行い、介護予防・生活支援サービス事業の担い手や地域活動に取り組む人材の確保・育成を行います。	基礎研修を23人、専門研修を15人が修了した。現任研修として認知症サポーター養成講座があるが、コロナ禍で開催数が減少しているため、初めて生活支援隊向けに開催し12人が参加した。思うように参加できない状況が続いたため、参加者は開催を喜ばれた。	高齢福祉課

施策評価票

4-1

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向1	自己の充実に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	社会教育課, スポーツ振興課, 公民館課, 高齢福祉課, 健康推進課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	地域での生きがいづくり・仲間づくりの事業については、公民館において様々な講座を開催し、高齢者がより良い生活を送る助けになっている。また、講座参加者が講座後も集い仲間づくりにつながっている。その他の事業も、感染対策を行いながら事業を実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

4-1

基本目標 4	高齢者がいきいきと活動が続けていける地域づくりを進める
施策の方向 1	自己の充実に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	生涯学習の推進	高齢者を含めた生涯学習施策の推進を図ります。	市民大学講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン（録画）形式で講座を4回実施し、80人が参加した。グループサークルについては、市民への丁寧な周知を行い、110団体から147団体にまで登録数が増えた。	社会教育課
②	体育施設使用料の減免	満60歳以上の方に対し、「市民室内プール」や「市民スポーツセンターおよび市民ひかりスポーツセンターの個人利用（バドミントン・卓球等）・フィットネスルームの個人利用」の施設使用料を「無料」にし、元気・健康な生活を過ごせるよう支援します。	満60歳以上の方や障害のある方を対象とした「オパール会員制度」を設け、市民室内プールや市民スポーツセンター、市民ひかりスポーツセンターの個人利用について利用料を無料とし、スポーツに気軽に触れる機会を提供することで、高齢者の元気で健康な生活に寄与している。	スポーツ振興課
③	地域での生きがいがづくり・仲間づくり	様々な公民館主催事業の開催や、グループでの学習・活動・交流の場の提供を通じて、高齢者の生きがいがづくり・仲間づくりを支援します。	<p>【本多公民館】「終活準備～はじめのいっぽ～」も講座では、遺品整理や葬儀など自身や家族の来るべき時に備え考えると同時に、公民館で長く活動していただくため、健康維持の運動方法を学び、活動の支援を行った。「中庭コンサート」では、交流の場として中庭を提供し、高齢者を含む各グループが発表を行い、交流を深めることができた。「スマートフォン講座」を初級・中級の2コースで開催した。</p> <p>【恋ヶ窪公民館】新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらできる範囲での事業を実施した。恋ヶ窪公民館では自然環境講座、歴史講座、スマートフォン講座をそれぞれ連続2回の講座で実施した。</p> <p>【光公民館】薬膳とストレッチの講座では、身体の内外を食と体操により、健康を維持管理する目的で実施した。また、この講座にとどまらず、講座参加者が講座の続きとして集い仲間作りとして継続活動している。スマートフォン講座では使い方を覚えることにより、仲間と連絡やコミュニケーションをとる術として、より有効な手段を取得する目的で実施した。</p> <p>【もとまち公民館】スマートフォンの使い方を覚えることにより、仲間と連絡やコミュニケーションをとる術として、より有効な手段を取得する目的で実施した。地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携し、地域で自分らしく生活していくための講座を開催した。</p> <p>【並木公民館】スマートフォンで施設予約システムなど様々なサービスの利用や情報収集ができるように、初級者向けにスマートフォン講座（全2回×2）を実施した。人生100年時代講座では、人生を振り返るワークシートを作成する中で自身の興味に関するテーマを探し、共感するテーマをグループで話し合い、豊かに生きていくために必要なことを考えるきっかけを作った。</p>	公民館課

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
④	地域介護予防活動 支援事業 【再掲】	地域住民主体で行う介護予防活動の支援などを行います。	コロナ禍で立ち上げ支援が難しい中、令和3年度には3グループ立ち上がった。密を避けるため、大規模での新規立ち上げは今後も難しく、小規模なご近所同士でのグループ立ち上げを主流に展開している。	高齢福祉課
⑤	地域生きがい 交流事業 【再掲】	生きがいを持って社会参加を続けられるように、生きがい創作、文化活動、介護予防、健康増進、交流、レクリエーションに関する事業を実施します。	市内6か所の生きがいセンターで、1年を3期に分けて23講座を実施し、各期の最後には各センターで受講者同士の交流会・発表会を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1期(4/25～6/20)を中止し、再開後も、感染対策を十分に行いながら実施した。	健康推進課

施策評価票

4-2

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向2	高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	地域共生推進課, 社会教育課, 経済課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	いずれの事業も適切に行われたことを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

4-2

基本目標 4	高齢者がいきいきと活動が続けていける地域づくりを進める
施策の方向 2	高齢者の知識や技術・経験を活かした社会を推し進めるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	シルバー人材センターの支援	シルバー人材センターに対する財政的支援を行い、事業の促進を図ります。	高齢者の就労機会の提供・確保に重要な役割を果たしているシルバー人材センターへの財政的支援を継続するとともに、シルバー人材センターへの業務委託の推進を図る。これらにより高齢者の技術・経験を生かした地域活動への参加を促進させる。 高齢者の希望に応じた、臨時的・短期的な就業の機会を提供することにより、高齢者の能力を活かし、活力ある地域社会をつくることを目的としている。シルバー人材センターの運営費への補助金交付のほか、作業所の提供、就業相談及び事業活動周知のための広報活動への支援を継続する。	地域共生推進課
②	人材バンク	個人又は団体で気軽に学習に取り組めるように、様々な分野の講師の登録情報を公開します。	27人の登録があり、年々増加している。	社会教育課
③	就労・就業相談・情報提供	高齢者の雇用を支援するために、関係機関が実施する高齢者向け再就職セミナーや就労に必要な技能・知識を得るための就職支援講習など、高齢者の多様な働き方に応じた就労支援情報を提供します。	高齢者の就労支援に関する関係機関のセミナーや就職面接会のパンフレット等を庁内配架することに加え、市報、ホームページ、ツイッター等でも積極的に情報提供を行った。	経済課

施策評価票

4-3

基本目標4	高齢者がいきいきと活動を続けていける地域づくりを進める	重点事業	
施策の方向3	様々な世代との交流に向けて	担当課 (重点事業担当課には☆印)	公民館課, 子ども子育て事業課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	いずれの事業でも高齢者とそれ以外の世代との交流が図られたため「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

4-3

基本目標 4	高齢者がいきいきと活動をしていける地域づくりを進める
施策の方向 3	様々な世代との交流に向けて（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
①	異世代交流事業	公民館が中心になり、地域の方々（高齢者も含む）が指導者になり、世代を越えて交流・体験できる学びの場をつくれます。	<p>【本多公民館】子どもと大人の交流・体験広場として、8事業を実施し、参加者及び指導者が各事業を通して共に学び合い豊かな体験ができる活動をした。参加者延べ人数は457人だった。</p> <p>【恋ヶ窪公民館】ジュニアサロン学びの広場で地域の方に講師を依頼し、切り絵・折り紙講座を実施した。</p> <p>【光公民館】公民館の利用団体が講師となり、地域還元講座として、普段行っている折り紙作りを実施した。中高年者に加え異世代間において、参加者同士でも作り方を互いに確認しながら作成に臨んでいた。</p> <p>【並木公民館】遊びを通し、異世代交流の場とする「つくってあそぼうまちなかの環」では地域の高齢者などが子どもに凧作りを教えて凧揚げをした。</p>	公民館課
②	高齢者ボランティアによる異世代交流	児童館行事において、昔遊びや読み聞かせ等の企画に高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、子どもと高齢者の自然な交流を図ります。	新型コロナウイルス感染症対策を行い行事を実施した。読み聞かせ、手遊び、昔遊びを通して利用者との交流ができた。ボランティアの高齢者も意欲的に参加していた。	子ども子育て事業課

施策評価票

5-1

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する	重点事業	①ケアマネジャーへの支援
施策の方向1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	ケアマネジャーへの支援については、目標値を下回ったものの工夫をしながら関係構築を行っている。その他の事業についても、オンラインを活用するなどして実施したことから「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。 ケアマネジャーへの支援については、相談件数だけで成果が上がったかを見るのは難しい。ケアマネジャーのスキルが向上することで相談件数が減少することや、地域包括支援センターのみではなく他機関と連携してケアマネジャーの支援が行われたことも考えられる。 また、ケアマネジャーのみならず介護に関わっている全ての人々を支援していくことが必要である。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

5-1

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値, 下段が実績値					
①	ケアマネジャーへの支援	ケアマネジメントの向上, ケアマネジャーが抱える複合的な課題等への対応について, 地域包括支援センターが助言や個別支援を実施します。	地域包括支援センターにおけるケアマネジャー相談対応件数(件)	2,800	2,900	3,000	B	相談件数は目標値を下回ったが, 地域包括支援センターがケアマネジャーから受けた質問をまとめてケアマネジャーと共有したり, 来所時の声掛けで意識的に関わるなど関係構築のため工夫している。	高齢福祉課
				2,210					

基本目標 5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向 1	誇りとやりがいを持ってわがまちで働き続けられるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	教育・研修の充実	事業所、ケアマネジャー、介護職員等への必要な情報提供や研修等を行います。	ケアマネジャー向けの研修はオンラインを活用したハイブリッド形式で新任研修2回、現任研修を4回開催した。	高齢福祉課
③	市内介護従事者の就労支援の検討	市内介護保険事業所職員が安心して就労できる環境を整える方策を検討します。	市内事業者との情報共有ツールである「ケア倶楽部」の利用を開始し、ケア倶楽部を通して研修のお知らせ等の情報共有ができる環境を整えた。	高齢福祉課
④	生活支援隊・介護予防応援隊の確保・育成【再掲】	基礎研修・現任研修・フォローアップ研修を行い、介護予防・生活支援サービス事業の担い手や地域活動に取り組む人材の確保・育成を行います。	基礎研修を23人、専門研修を15人が修了した。現任研修として認知症サポーター養成講座があるが、コロナ禍で開催数が減少しているため、初めて生活支援隊向けに開催し12人が参加した。思うように参加できない状況が続いたため、参加者は開催を喜ばれた。	高齢福祉課
⑤	事務負担軽減に向けた支援の検討	介護分野の文書に係る事務負担軽減に向けて国が示す簡素化・標準化の方針に基づき、介護事業所の事務負担軽減に向け、対応します。	介護保険システムの全国的な標準化について、国が示した標準準拠システムと当市の現行システムの差異及び課題の洗い出しを行った。また、介護保険分野において、国が示した行政手続オンライン化対象の項目について課題の洗い出しを行った。	高齢福祉課
⑥	資格取得に向けた支援	介護未経験者研修費用補助金交付事業を実施し、介護未経験者等が、資格取得によって市内事業所で安心して継続的に働けるよう、介護人材確保施策を推進します。	介護職員初任者研修又は生活援助従事者研修課程を修了し市内事業所等に就業した方に対して、研修費用の補助を実施し、対象者11人に交付した。	高齢福祉課
⑦	国分寺市介護保険事業者各種連絡会開催支援	市民に向けた質の高い高齢者介護サービスが提供されることを図るため、ケアマネジャー連絡会、サービス提供責任者連絡会、通所事業者連絡会、訪問看護連絡会の開催支援を行います。	ハイブリッド形式で1回開催した。職員離職の原因にもなっているカスタマーズハラスメントに着目し、介護保険事業者に対して研修を実施した。	高齢福祉課

施策評価票

5-2

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する	重点事業	①介護・福祉の魅力発信
施策の方向2	介護職の魅力を伝えるために	担当課 (重点事業担当課には☆印)	☆高齢福祉課, 学校指導課

	令和3年度	令和4年度
進捗状況評価	おおむね目標どおり進行している。	
進捗状況評価に関する説明	介護・福祉の魅力発信については、市内のイベントにおける福祉の仕事に関するPRの実施を検討した。職場体験機会の提供については感染症拡大防止の観点から中止となったが、受入れ先の募集を行い応募はあった。これらを踏まえ「おおむね目標どおり進行している。」と評価する。	
検討委員会意見	上記の評価と相違なし。	

	令和3年度～令和5年度
達成状況評価	
達成状況評価に関する説明	
検討委員会意見	
次期計画に向けた方向性	

事業評価票

5-2

基本目標5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向2	介護職の魅力を伝えるために（重点事業）

【進捗状況】A(目標を上回った) B(おおむね達成した) C(目標を下回った)

番号	事業名	事業内容	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	進捗状況	進捗状況に関する補足	担当課
				上段が目標値，下段が実績値					
①	介護・福祉の 魅力発信	様々な手法を通して，幅広い世代に 介護・福祉の仕事の魅力を発信しま す。	介護・福祉の 魅力発信	構築	構築	実施	B	市内のイベントにおいて，市民に対して福祉の仕事 に関するPRの実施を検討している。また，都の実施 する介護・福祉の仕事のPR事業の周知に協力し，チ ラシ等の配架を実施した。	高齢福祉課
				構築					

5-2

基本目標 5	高齢者を支える人材を確保・育成する
施策の方向 2	介護職の魅力を伝えるために（取組事業）

番号	事業名	事業内容	取組状況	担当課
②	職場体験機会の提供	市内の公立中学生を対象に、介護職の職場体験を実施します。	受入れ先の募集を行い6事業所から応募があったが、新型コ ロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験そのものが中 止になった。	高齢福祉課 学校指導課